

I. 基盤整備センターの概要

1. 設立の目的と業務概要

(1) 目的

近年の少子高齢化や産業構造の変化、グローバル化等社会経済環境の変化を背景に、労働力の需給両面にわたる構造的な変化が著しく進展する中、持続可能な活力ある経済社会を構築するため、若年者、女性、高齢者、非正規労働者を含め一人一人の能力を高めることが必要となっている。

このような社会の課題に応じるため、基盤整備センターは、職業能力開発の実践に必要な調査研究、教材・訓練コース等の開発及び訓練技法・評価等の開発を体系的に行い、合わせてここに蓄積される各種職業能力開発に関する情報を発信していくことを目的としている。

(2) 平成26年度業務の概要

イ. 企画調整部

企画調整部には2課1室があり、次のような活動を行った。

- ① 企画調整課では、基盤整備センターの運営方針等の企画調整の業務を行った。
- ② 普及促進課では、基盤整備センターの調査・研究、開発成果を全国の職業能力開発施設等に対して広報・普及するとともに「職業大フォーラム2014（第22回職業能力開発研究発表講演会）」を開催した。
また、「職業能力開発報文誌」等専門情報誌の編集・発行を行った。
- ③ 職業訓練教材整備室では、情報発信システム「職業能力開発ステーションサポートシステム (<http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>)」（愛称：テトラス）による情報提供を行った。
また、当室では職業訓練教材コンクールの審査業務も行った。

ロ. 開発部

開発部には5開発室があり、次のような活動を行った。

- ① 高度訓練開発室では、職業能力開発大学校等の標準カリキュラムの見直しを行い、「分野別実践的カリキュラムの設定に係る基礎研究（高度職業訓練）」を行うとともに、「訓練・学習の進捗等に配慮を要する学生に対する指導・支援に関する研究プロジェクト」を行った。
- ② 在職者訓練開発室では、在職者訓練カリキュラムの精査等を行うとともに、「ものづくり間接支援分野等における訓練実施基盤の開発」、「離職者訓練、在職者訓練実施に係る人材ニーズ及び人材育成ニーズの把握」を行った。
- ③ 教材開発室では、普通職業訓練・普通課程用教科書4教科書の改訂を行うとともに、「分野別実践的カリキュラムの設定に係る基礎研究（普通課程）」、「分野別実践的カリキュラムに係る評価の水準に関する基礎研究（技能照査及び職業訓練指導員試験）」を行った。
- ④ 訓練技法開発室では、離職者訓練カリキュラムモデルの検討等を行うとともに「離職者訓練用

訓練課題の開発及びメンテナンスに関する調査研究」、「求職者支援訓練における効果的な助言、相談援助等に関する調査研究」、「ICTを活用した指導技法・技能向上システムに関する調査研究」、「離職者訓練の実施に係るシステム・ユニット訓練用テキストの開発」並びに橋渡し訓練カリキュラム及びテキストの作成を行った。

- ⑤ 調査開発室では、「職業能力の体系の整備等に関する調査研究」及び「若年層を対象とした実践的職業訓練コースの開発及び検証実施に関する調査・研究」を行った。
- ⑥ 5 開発室において、地域の開発機関の協働（地域レベルのコンソーシアム）による職業訓練のコースの開発及び検証の実施を支援した。